

■ミツチャクロンシリーズ塗装可能な被塗物と密着性

◎=最適 ○=適 △=あまり適していない

	マルチ	AB・X	BK・H	BK・X	EP・X	TXF	水系		
							BO	WP・X	
被塗面との密着性 (試験使用塗料:強溶剤速乾10:1アクリルウレタン)	アルミニウム(※1) 一部合金を除く(AL50P)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○
	アルマイト加工品	○	○	○	○	○	○	○	○
	ステンレス ※一部鏡面肌除く(SUS304・403)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○
	ガルバリウム	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○
	銅	◎	◎	○	◎	◎	◎	○	○
	スチール	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	△
	カラータン(※1)	○	○	○	○	○	○	○	○
	焼付塗装塗膜(※1)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○
	電着塗装塗膜	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎
	フッ素加工品(※2)	○	○	○	◎	/	○	○	/
	化成皮膜処理物・ボンデ鋼板(※3)	○	○	○	◎	◎	○	○	○
	電気亜鉛メッキ(※4)(※5)	○	○	○	◎	◎	○	○	○
	熔融亜鉛メッキ(※4)	○	○	○	○	○	○	/	/
	鉛・真鍮・クロムメッキ	○	○	○	○	○	○	○	○
	コンクリート・モルタル	○	○	/	○	○	○	○	○
	ポリプロピレン(PP)	○	/	/	/	/	○	○	/
	ポリカーボネイト	○	○	/	/	/	○	○	/
	硬質塩ビ	○	○	/	/	/	○	○	/
	ABS(※6)	○	○	/	/	/	○	○	/
	FRP	○	○	○	○	○	○	○	/
ポリ化粧板	○	○	/	○	○	○	○	/	
アクリル板	○	○	/	/	/	○	○	/	
メラミン化粧板	○	○	/	○	○	○	○	○	
ガラス・ホーロー	○	○	/	/	/	○	△	/	
磁器タイル ※釉薬処理されているものを除く	○	○	/	/	/	○	○	/	
適正な上塗り	1液反応硬化型ウレタン塗料(弱・強溶剤)	○	○	○	○	○	○	○	○
	2液反応硬化型ウレタン塗料(弱・強溶剤)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○
	2液反応硬化型アクリルウレタン塗料(弱・強溶剤)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○
	1液型エポキシ塗料	○	○	/	○	○	○	○	○
	2液反応硬化型エポキシ塗料	○	○	/	◎	◎	○	○	◎
	アクリルラッカー塗料	○	○	/	◎	◎	○	◎	○
	ストレートアクリル塗料	/	/	/	○	/	/	/	/
	反応硬化型水性塗料	○	○	/	○	/	○	○	/
	アクリルエマルジョン	△	△	△	○	/	△	○	/
	メラミン焼付け塗料(150℃程度)	○	○	◎	◎	◎	○	/	/
	アクリル焼付け塗料(180℃程度)	/	/	○	◎	◎	/	/	/
	エポキシ焼付け塗料(180℃程度)	/	/	○	/	○	/	/	/
	粉体焼付け塗料(200℃程度)	/	/	△	○	○	/	/	/
	UV塗料	△	△	△	○	/	△	/	/
	アクリルシリコン(※7)	△	△	/	○	/	△	/	/
	合成ペンキ フタル酸エナメル塗料	△	△	/	○	○	△	/	/
	2液反応硬化型フッ素塗料(弱・強溶剤)	○	○	/	○	○	○	○	/

表記中の記載内容は、気候や、素材の状態、作業環境等によって変化する可能性があります。

作業中にご参考いただく一資料としてご利用下さい。

※1 被塗面に使用している塗料により異なる為、塗装前にテストが必要

※2 表面のフッ素の除去が必要

※3 ラッカー塗料は厚塗り厳禁

※4 亜鉛処理後、酸化被膜が形成したものに塗装可能

※5 被塗面の処理方法により密着性が異なる可能性

※6 素材の硬度により、溶剤で素材を傷める可能性

※7 お問い合わせください

※アルミニウム合金は一部密着性の弱い物がある為、使用前にお問い合わせください。

※アルミ(一般使用品)、ステンレス(SUS304・403)以外の非鉄金属に使用する場合は

お問い合わせください。

※ホーローに使用する場合は、お問い合わせください。

※素材の表面にフッ素処理などの表面加工がされている場合は、除去してからご使用ください。

※シリコンが含まれる素材には使用しないでください。